

## 飼料原料中の放射性セシウム分析結果（平成24年4月～8月）について

社団法人日本科学飼料協会では、農林水産省からの補助を受けて実施した平成23年度食の安全・消費者の信頼確保対策事業 飼料中の有害物質等の含有量実態調査事業を継続するため、飼料製造業者等および独立行政法人農林水産消費安全技術センターの協力を得て、平成24年3月29日から平成24年8月30日の間に収集した飼料原料467点について、放射性セシウム（Cs134およびCs137）含有量を測定し、その結果を取りまとめましたので、ご報告します。なお、分析は、昨年度と同様に、ゲルマニウム半導体検出器（定量下限：Cs134およびCs137とも、10 Bq/kg）で実施しました。

分析結果は、以下に示したとおりです。

分析を実施した467点中、放射性セシウムが検出されたのは15点（3.2%）のみでありました。また、検出された値もCs134とCs137の合計で最高50 Bq/kgであって、その他はほとんど定量下限付近の値でした。

なお、本データを転用する場合には、「本データは、（社）日本科学飼料協会が独立行政法人農林水産消費安全技術センターの協力を得て実施した、飼料原料中の放射性セシウムの分析結果（平成24年4月～8月）を転用したものです。」旨の脚注を付して頂きますよう、お願いします。

平成25年3月29日

社団法人 日本科学飼料協会

飼料原料中の放射性セシウム分析結果（平成24年4月～8月）

穀類（分析実施点数 91 点）

試料名	Cs134、Cs137 とも検出せず	Cs134 及び Cs137 が検出された点数 及びその内容
米	2	0
米粉	1	0
小麦粉	88	0

そうこう類（分析実施点数 236 点）

試料名	Cs134、Cs137 とも検出せず	Cs134 及び Cs137 が検出された点数 及びその内容
米ぬか（生米ぬか及び脱脂米 ぬか）	96	14 40Bq/kg ; 1 点 30Bq/kg ; 3 点 20 Bq/kg ; 3 点 10 Bq/kg ; 7 点（Cs137 のみ）
ふすま（麦ぬかを含む）	119	1 10 Bq/kg ; 1 点（Cs137 のみ）
醤油かす	5	0
コーングルテンフィード	1	0

植物性油かす類（分析実施点数 2 点）

試料名	Cs134、Cs137 とも検出せず	Cs134 及び Cs137 が検出された点数 及びその内容
なたね粕	2	0

動物質性飼料（分析実施点数 101 点）

試料名	Cs134、Cs137 とも検出せず	Cs134 及び Cs137 が検出された点数 及びその内容
魚粉	90	0
フィッシュソリュブル	4	0
ポークチキンミール	2	0
チキンミール	3	0
フェザーミール	2	0

その他の原料（分析実施点数 37 点）

試料名	Cs134、Cs137 とも検出せず	Cs134 及び Cs137 が検出された点数 及びその内容
炭酸カルシウム	3	0
魚油	5	0
動物性油脂	13	0
糖蜜	2	0
菓子粉	3	0
食品副産物及びその原料	5	0
ペレット加工用水	6	0

- 個別の分析結果については、[こちら](#)をご参照ください。